

2021 年 9 月期第 2 四半期決算説明会 質疑応答

開催日時：2021 年 5 月 24 日(金) 16:00-17:00

登壇者：代表取締役社長 新谷 正伸

問 1) EV 用電池のフィルムについて、どのようなものか詳しく教えてください。

答) リチウムイオン電池の特殊な包装フィルム及び関連部材になります。過去数年かけて取り組んできた商材であり、当上半期に中国大手企業から受注しました。用途は自動車ではなく携帯電話等に使われる見込みです。今後も成長が期待されるビジネスのため、当社中国現地法人が中心となり注力してまいります。

問 2) 2021 年下半期の計画が、上半期に比べて鈍化している理由は何でしょうか。

答) 下期もゴム・化学品の化成品セグメントは堅調で、さらに木質バイオマス大型案件やコスモス商事レアアース大型案件の実現も予定しております。一方、上期で復活・好調だった自動車部品関連商材は、半導体供給問題、樹脂製品供給問題やコロナ感染症再拡大などの不透明要因があり、こちらの影響を堅めに織り込んでおります。

問 3) 特に期待できるトピックは何でしょうか。

答) 中国のリチウムイオン電池の包材、5G の放熱関係のフィラー、ワイピーテックと粉体グループのシナジーを見込める畜産関係の各種添加剤、木質バイオマス及びレアアース等、数多くございますが、各種新しい商材の可能性をそれぞれの事業部が推進しております。

問 4-1) 英国 OXIS 社のリチウム硫黄電池の販売実績はどうですか。

答) 現在は開発段階で、国内外のユーザーによる評価を進めているところです。軽量、安全、安価という特徴で競争力があり、お客様のニーズに合うものを今後開発してまいります。注目されている用途でございしますので、積極的に進めてまいります。

問 4-2) 今後 EV の拡大で期待できる商材はありますか。

答) [補足] 内装材はシート周りの快適性・居住性を重視した部材、EV 電池関係では熱マネジメント部材や放熱フィラーなど原材料も期待できます。

問 5) 来期から会計基準すなわち収益認識基準が変更になりますが、その影響はありますでしょうか。

答) 当社では 10 月から新しい期となり収益認識基準が変わります。その影響につきましては、機械・環境事業部の大型工事関連ビジネスが該当し、現在の検収基準から工事進行基準へ変更となります。ただし現在でも、期をまたぐ案件は限られており、数字へのインパクトは大きくはないと考えております。また、代行商売は原則扱っておりませんので、これによる売上高への影響は大きくないものと考えております。

問 6-1) 米国での高吸水性樹脂好調の要因及び持続性を教えてください。

答) コロナ禍でも消耗材の需要については減っておらず堅調に推移しております。新規需要家のビジネスを獲得しましたので、こちらが当社のビジネスとしての好調の要因だと考えます。持続性につきましても、市場に浸透した消費材であるため、継続安定するものと考えております。

問 6-2) コスモス商事は、今後内外の二酸化炭素貯留プロジェクトにも関与していくのでしょうか。

答) もちろん、関与してまいります。掘削ビジネスはコスモス商事の強みでございますので、今までの経験も活かし二酸化炭素の削減、気候変動など地球環境についての貢献を進めてまいります。

[補足]2012 年～2019 年、北海道苫小牧において製油所で発生した CO₂ を海底下 1,000m と 2,400m の地層へ圧入・貯留する実証試験が実施されました。この 2 坑の掘削に、コスモス商事のトップドライブシステムを始めとする掘削機材が採用された実績がございます。

以上